

# 第 11 回 ATAC 講演会を開催しました

## ～ 中小企業の秘策を一挙公開 ～

本年去る3月19日大阪科学技術センターにおいて恒例の ATAC 講演会を開催しました。ATAC メンバーからの2件の講演に引き続き、特別講演として株式会社エンジニアの代表取締役社長高崎充弘様をお招きし「ネジザウルス GT の開発から得られた『MPDP』」と題しヒット製品開発の秘訣をお話頂きました。



最初は ATAC メンバー小山圭一から「機械加工のワーク搬送の自動化について」の講演でした。自動車部品の自動生産ラインでの豊かな経験を基に、①ワーク搬送の形、②搬送自動化の方法、③設備停止の原因、④搬送自動化の実例、という内容でした。

自動化では稼働率が最も重要でライン停止はどんなことがあっても避けなければなりません。しかしその原因は、意外に些細な事が多いものです。

設計上の問題よりも現場での観察で的確に直せる場合が多いことを色んな事例で説明、ものづくり現場ですぐに役立つと共感を受けました。



2番目は ATAC メンバー坂井公一から「会社業績を伸ばすパソコン活用技術」の公演でした。身近なパソコンの EXCEL を利用し様々な解析を行うもので①同アドインによる重回帰分析プロ

野球 2013 年シーズンの査定 ②クラスター分析とデンドグラム図（系統樹）の作成 ③市場調査に必要なサンプル数の算定 ④ USB 端子を用いたマルチチャンネル温度プロファイル計測 ⑤超低振動スペクトル解析による住宅の固有振動数測定事例 が紹介されました。パソコンが広く使用されている現在、既に標準品として内蔵されているソフトを如何に有効活用できるかを具体例を示しながらの説明には多くの方々から興味が示されました。



さて、最後に特別講演の（株）エンジニア 代表取締役高崎社長様による「ネジザウルス GT の開発から得られた『MPDP』」がありました。当社はネジ山が潰れたネジを外せる工具などヒット商品の開発で有名です。高崎社長様が提唱される「MPDP」は「ネジザウルス GT」の大ヒットで実証された理論で、MPDP は、Marketing、Patent、Design、Promotion の頭文字をとったものです。これら要素が揃ったときにはじめて、ヒット商品が生まれるというものです。「ネジザウルス GT」では、M、P、D の3つの条件が揃った製品を投入したところ、売上げが従来品の倍増を記録し、最後の P についての工夫を重ねることで、さらに 1.5 倍の売上を達成されたとのことのお話は全員が感動を受けるところでした。

また知財技能資格を社員 30 名中 9 名が取得され、社内の知財知識のレベルアップにも尽力されております。さらに、社長自ら、知的財産教育協会の中に『中小企業センター』を立ち上げられ、中小企業の知的財産に関する声を国に届けることを目的に活躍されているそうです。このように社内に留まらず、国内の中小企業全体の活性化を念頭に置いた幅広いご活躍に我々は深い感銘を受けました。（佐々木、田中、まとめ池田雅）